

「外国語ができる」 とは？

—大学における外国語学習のあり方をめぐって—

日時：2013年10月29日(火)

16時30分～18時30分 (16時開場)

場所：和泉図書館ホール

参加：自由

プログラム

16:30 主催者挨拶

16:35～17:05 講演

佐藤 健氏

(オリックス(株)元専務執行役員 本学商学部OB)

「ことばの力—私が学んだ外国語—」

17:05～18:05 パネリストからの報告

(1) **山本 雄一郎 准教授** (商学部)

「実務スキルとしての外国語」

(2) **小川、G.F. 教授** (商学部)

「異文化交流のための外国語」

(3) **石黒 太郎 教授** (商学部)

「知識・教養としての外国語」

18:05～18:30 自由討論

[司会進行：広沢 絵里子 教授 (商学部)]



テーマについて

大学(学部)の教育内容は、大学を取り巻く社会から常に変化を求められています。大学のカリキュラムの中で大きな位置を占める外国語教育についてもそれは例外ではありません。大学がどのような外国語教育を提供し、学生がその教育をどう身につけ、どう役立てていくのか。教員・学生双方が、外国語教育の位置付け、学び方、評価等に関して常に点検し、改善していくことが大切です。

今回のミニ・シンポジウムでは、大学(学部)での外国語学習のあり方を社会の現状に照らして見つめ直し、大学で外国語を学ぶことの意味、方法などについて再考することで、より意義深い外国語教育、外国語学習の姿を模索したいと思います。

主催

商学部 +

商学部カリキュラム委員会

商学部 FD 委員会

商学部自己点検・評価委員会

問い合わせ

商学部事務室 (和泉)

Tel.: 03-5300-1141